



いーわ岩首
てくてくマッポ



Iwakubi walking map, Sado Island, Niigata



やまと、むらと、うみに出会う



岩首へ、寄らんかさ

群青色の海に面した小さな谷間にある岩首は、人びとの暮らしのなかで育まれた里の風景が自慢です。木の温もりを感じる家並みをぬけて、山へとつづく坂道を登っていくと、大小さまざまな形の棚田が空へと連なっています。てくてく歩いて山の上まで行ってみましょう。田んぼと海を眺めながら、おいしい空気を胸いっぱい吸い込めば、すがすがしい気分になれるはず。心がほどけていくような風景を、ゆっくりと味わってください。



02



03



05



04

01・海と朝日を望む棚田は珍しい。02・現岩首談義所の小学校に満開の桜と子どもの笑顔が咲いた。03・伝統を守り伝える岩首の鬼太鼓。04・はざかけに新米がかかると秋のおとずれ。05・旧道に沿って古い家並みがつづく。06・寺の前でお地藏さまが微笑む。07・祭のあとの風景。

©2009 岩首棚田、とき共生みらい ビオアイランドネットワーク
イラスト：野原大介、国府田賢一（表紙） 写真：守谷美峰、大野広幸
（02, 03, 表4まつり） 印刷：男神 助成：佐渡おこしチャレンジ事業

岩首マップ



小さな谷間の集落 岩首
木の温もりを感じさせる家々
空へと連なる棚田
心ほどける風景も
ゆっくり味わってください



棚田、岩首集落、海が一望できる
天気の良い日には本州の山々が見える

View point 1
空のまめらか家(展望台)



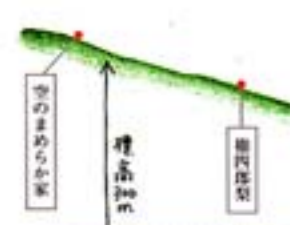
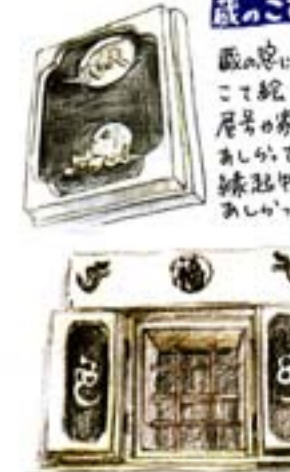
一番小さい棚田
全部がひとりで
ごはん茶碗2杯分



View point 2 昇龍棚田
空へと向かう
棚田の連なりが
まるで
天に昇る龍のように見える



炭焼き小屋
木炭
トタン屋根が
傾斜の付いて
さびるため草を葺いた



権四郎のおぼあちんのおぼあちゃんの子どもの時からあった梨の木



養老の龍
高さ29mの泡盛醸造の修行の場所でもある



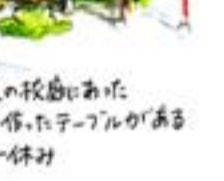
石工資料館
石を削る音が
聞かれますか?



熊野神社 集落の鎮守
境内にある切り株がまた生えてきた杉の木



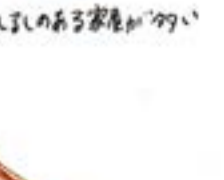
台天様
毎朝天が
花びらける



岩首談義所
旧岩首小学校の校舎にあり
イチウの木で作ったテーブルがある
海を眺めて一杯



屋号のしほ
屋根に屋号のしほのある家々が多い



善智寺
天徳寺として
善いことを
祈る寺



View point 3 堤防の先



防波堤の先端から岩首集落の家々が一望できる



標高350mを超える山間から集落手前まで
岩首の棚田は連なっている

岩首標高図

岩首のたからもの



やま 岩首川を登っていくと養老の瀧があります。その水を飲むと子宝に恵まれるという言い伝え。そして山へ登ると、空までとどきそうな棚田が広がっています。四季折々に美しい棚田を見ながら、ぼーっとしてみませんか。

むら 木造校舎のぬくもりが魅力の岩首談義所。地域の人々と交流し、岩首の自然、文化、歴史にまつわる話を聞いてみてください。「村ん中」を散策すれば、ゆったりとした時間が流れます。お腹がすいたら海岸近くの商店に寄ってみて。

うみ 豊かな海が自慢です。岩首の港は、釣り人たちの穴場スポット。防波堤の先まで歩いて望む360度の大自然には、思わずうっとり。空気の澄んだ日は、越後の山々がきれいに見えます。岩の上にある弁天さまへのご参拝も、お忘れなく。

まつり 岩首大祭は毎年9月、敬老の日直前の日曜におこなわれます。普段は静かな集落もこの日はたくさんの人で賑わいます。地域の思いを込めて、一軒一軒の家を練り歩く鬼太鼓。このようなお祭りがいつまでも続いてほしいです。

アクセス

- ・車 佐渡汽船両津港から県道45号線
(佐渡一周線小木方面)を約50分
佐渡汽船小木港から県道45号線
(佐渡一周線両津方面)を約45分
- ・バス 両津港より東海岸線を約90分
0259-57-2121(新潟交通佐渡株式会社)

佐渡市岩首
面積 4.4㎡
人口 146人
*2009年現在



お問い合わせ

岩首談義所

〒952-0857 新潟県佐渡市岩首573
090-5435-7498 (代表 佐藤喜寿)
090-5345-9020 (事務局 大石惣一郎)
*午前10時~午後5時